



第4回 「埋もれたキラリティーを探して－大学でできる創薬化学－」

日時	2020年11月7日（土） 14時00分～15時30分
講師	高橋 秀依 東京理科大学 薬学部薬学科 教授
講義概要	<p>中心不斉に基づくキラリティー（立体化学異性体）は高校の化学でも学ぶ内容ですが、中心不斉をもたないのにキラリティーが認められる化合物については、プロの研究者でも見過ごすことがあります。</p> <p>私たちは、医薬品の立体構造を解析し、そこに隠されているキラリティー（軸不斉）を発掘する研究を行っています。軸不斉を活用した新たな医薬品を分子設計・合成し、患者さんの治療に貢献することが目標です。</p> <p>その他、希少病であるMenkes病の治療薬開発など、「薬学を学ぶことで幅広く社会に貢献できる！」というお話をさせていただきます。</p>
参考図書	『カリカリペーコンはどうして美味しいにおいなの？－食べ物・飲み物にまつわるカガクのギモン－』 化学同人 アンディ・ブラウニング著 高橋秀依・夏苺英昭 訳